

会 議 録

1 会議名

令和5年度第11回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・新上越斎場の管理の在り方について（公開）

【協議事項】

- ・自主的審議事項等について（公開）

3 開催日時

令和5年12月12日（火）午後6時30分から午後7時30分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、田中美佳（副会長）、磯田一裕（副会長）、
河野健一、田中 実、田村雅春、古澤悦雄、増田和昭、丸山岳人、
水澤敏夫、水島正人（欠席者5名）
- ・福祉課： 丸田課長、佐藤副課長、渡邊係長
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：水島委員、磯田副会長に依頼

議題【報告事項】新上越斎場の管理の在り方について、福祉課より説明をお願いしたい。

【福祉課：丸田課長】

- ・挨拶

直江津区地域協議会の皆様方のところには、これまでも何回か新しい上越斎場のことで伺っている。令和2年6月には基本構想の説明、諮問をさせていただき、その後令和4年9月には基本設計の説明、そして本年5月には工事の開始についての説明をさせていただいた。来年、令和6年12月に新たな上越斎場の供用を開始することにあたり、条例の一部改正が必要となる。皆様方には、今後上越斎場の管理の在り方についてということで諮問をさせていただくが、本日はその事前説明ということでお時間をいただいた。

- ・資料1「新たな上越斎場の概要等について」、資料2「新たな上越斎場の平面図」に基づき説明

建設工事は順調に進んでおり、現在1階のコンクリート工事が終了し、2階のコンクリート工事が年内に終了する予定で進んでいる。今後も新上越斎場の建設に向けて着実に業務を進めていくので、皆様方には引き続きご理解とご協力をお願いしたい。

【青山会長】

ただいまの説明について、質問、意見等を求める。

【田村委員】

多目的室は、一家庭、一遺族が使うのか、それとも二遺族が使うのか。それは申請によると思うが、時間割で決めるのか。もし仮に、二家族、二遺族からあった場合、どういうやり方でやるつもりなのか。今想定されることだけで結構である。

【福祉課：佐藤副課長】

一部屋40平米ほどなので、使用する際は一家族を想定している。ご利用にあたっては事前にご予約をいただくので、それぞれのご利用いただく時間で先約があれば当然お断りするケースもあろうかと思うが一家族ずつである。なお、こちらをご利用する方というのは、さほど多くはないと考えている。皆さん一般的にセレモニーホールをご利用になられている方が多いと思っているので、先ほど説明したとおり、セレモニーホールを利用されないようなケースに対応できるようにということで準備をしている。

【青山会長】

その他にあるか。

【増田委員】

待合室、ホール、全て禁煙だと思うが、喫煙室というのは別にあるのか、喫煙室なしで禁煙なのかが一つ。もう一つは、前の資料にあったと思うが、マイカーの駐車場台数が何台か参考までに教えてほしい。

【福祉課：佐藤副課長】

まず前段の喫煙室は、設定を予定していない。現在の上越斎場に以前はあったが、現在は設置していない。二つ目のご質問の駐車場の台数については、新しい斎場の正面にある部分については55台、それ以外に、現在の斎場を最終的には取り壊して大型車両等はそちらに停まるが、基本的には敷地内55台ということである。

【増田委員】

承知した。

【青山会長】

その他にあるか。

【磯田副会長】

資料1の3番、使用時間のところで、新たな斎場についての火葬受入れ時間が表記されていない。これは設定をしてないということでしょうか。もし設定していないのであれば、火葬炉の使用時間は時間が書いてあるので、午後4時半までに焼き上がって終わりということだろうが、何時までに入れなければいけないかということは、セレモニーの方々や業者さんへの周知という意味で必要かと思う。受入れ時間の表記がないのはなぜなのか。また、どのぐらいで焼き上がるものなのか教えていただきたい。

【福祉課：丸田課長】

まず受入れ時間の表記がないのは、私どもも法務担当課から指導を受けたのだが、使用時間を表記するのが条例だということで、今磯田副会長がおっしゃった、焼き上がる終わりの時間、炉の使用について終わる時間を表記させていただいたものである。これは条例を作るルールの中でそのようになっているので、炉については、午前10時から火が入って最後終わるのは午後4時30分とご理解いただきたい。その時間の中で炉が五つあるので、10時にスタートする炉と10時半にスタートする炉と時間を組んでおり、五つの炉を3回転して最大15件火葬する。一つの炉は1時間半なので、最後は午

後3時に炉に火が入って、午後4時30分に炉の火が終わるというスケジュールである。

【青山会長】

他になければ、この件についてはこれで終わりとする。

－ 福祉課 退室 －

【青山会長】

次に、【協議事項】自主的審議事項等について、事務局より説明をお願いしたい。

【小川係長】

・資料No.1「直江津区地域協議会 今後の進め方について（案）」に基づき説明

【青山会長】

それでは、今後の進め方について協議を行う。改選までの整理事項について意見等はあるか。

【増田委員】

今後の会議日程と議題の中で、第12回の備考に「諮問事項あり」とあるが、何を諮問されるのかが一つ。また、第14回の「報告事項あり」について、何をどのように報告があるのか、説明をお願いしたい。

【小川係長】

1月16日の諮問事項は、今ほど説明があった上越斎場の管理の在り方についての諮問がある予定である。そして、もう1件予定として、前回説明があった三の輪台いこいの広場の廃止についての諮問がある予定である。第14回の報告事項は、令和6年度の地域独自の予算の予算案が公表される予定なので、事業一覧について報告する予定である。

【青山会長】

その他にあるか。

【田村委員】

再確認するが、第12回令和6年1月16日の通年観光計画について調整中というのは、議会との調整か、行政側との調整か。

【小川係長】

担当課との調整である。

【青山会長】

その他にあるか。

【磯田副会長】

今日の資料は、北部まちづくりセンターと私がまず打合せをさせてもらい、それに基づいて資料を作っていただき、正副会長で協議をしたものである。前々回増田委員から、この後8回ぐらいやらなければならないという話があった中で、我々が次の改選までに整理をつけておかなければいけない最低限のことについてまとめて、この6回ということが今回の提案である。1 ページ目の①直江津まちづくり構想については、基本的には直江津区地域協議会のメインの自主的審議事項だったわけだが、地域活性化の方向性と構成要素の深掘りということで整理をつけたので、それに基づいて次期の委員の方々により深い検討をしていただくということで、今回の改選までの協議の中ではこれは深掘りしなくてもいいのではないかと、或いはもうすでに皆さんとのコンセンサスができていくというふうに考えた。それから、②の消防団のあり方についても、前々回かその前に議論を一通りさせてもらい、さらに直江津区地域協議会の中で突っ込んだ議論をするのは当面は休止にしておくということがあったので、ひとまず審議終了と整理をつけてはどうかという提案である。③、⑥については、直江津区地域協議会が地域独自の予算提案までに、皆さんと非常に深い議論をして提案させてもらった防災活動の話について、どういうふうにしていけばよかったのか、或いは市との協議の中で、今のシステムの中ではうまくないのではないかとというようなことを含めて、地域独自の予算の事業提案のあり方のようなところまで、直江津区の中で振り返って整理をつけておく必要があるのではないかという思いでここに書いてある。④五智公園整備計画については、前回都市整備課から来てもらって話をしているので、今回太文字にはなっていない。そして、⑤通年観光については、今日資料を配布していただいたが、中間とりまとめがホームページ上にも載っているので、次回第12回にその辺の内容をお聞きしたり、本当のところはどうなのかといった話もあろうかと思うが、そういう議論をしていければと思っている。その日程をはめ込むと6回が限界というところで、第15回の活動報告会、公募説明会の後にもイレギュラーな感じではあるが、直江津区の自主的審議の流れの中での事業ということで整理をつけていきたいと思っているので、中間報告ということで議論、意見交換をさせていただきたいと思った次第である。

会議日程、議題等の内容については、そういった思いからこのようにさせていただいたということをご理解いただき、ご意見、ご質問があればいただきたい。

【古澤委員】

①から⑥までであるが、①、②、④については、一旦整理がついたということか。次年度はこれをやらずに、③、⑤、⑥を集中的にやるということだが、総括をしてあるかというとしていないと思う。そんなに詳しくやらなくてもいいが、どうしてやらなくなったのかという部分を、例えば消防団については、審議がもうほとんど完了しているといったことで結論したと思う。①については、まだ語るところがあるのではないかと私は思っている。またいろいろな問題等も出てくるかと思うが、皆さんの意見を聞いて進めたほうがいいのではないかと思っている。防災活動についても、以前危機管理課や市民安全課の方々から来ていただいて整合性を整えるというような話をしたが、これはまだしていないと思う。今後やるのかもしれないが、この辺のことをきちんとやってもらいたいと思う。町内会長のところに、防災訓練をやったか、やっていない場合はいつやるかというアンケートも来ている。このアンケートの結果を知らせてほしいと付記して、地域協議会や、直江津地区町内会長協議会にして名前を書かせてもらったので、その辺も検証していかないと、上辺だけではなかなか見えづらい部分等があるので、突っ込んだ議論をやっていただきたいと思う。

【磯田副会長】

今古澤委員からお話があったように、①は直江津区の地域協議会の自主的審議の根幹なので、これからもずっとやっていくという位置付けである。先ほどのお話にあったような、それに基づく整理をより深めていくということは、今後もずっとしていかなければいけないことである。ただ、この4月までの改選期の中にこの議論をしていくかという、一旦A3のペーパーで整理をつけた内容を、皆さんとの協議の中でしてきたので、今度はあれをベースにさらに深掘りをしていくという活動、協議会になっていくと思っており、今回太文字になっていないのは、我々の任期中により議論をするかしないかということで、そのように書かせていただいた。③と⑥の今後のやり方については、更に皆さん方の意見を出していただいて議論をしていくということになるが、例えば③の地域ぐるみの防災活動の議論の中で、この任期中に防災士会ともう一度協議をするという話が出てくれば、それは次の人たちにバトンタッチしていく上でもやっておく、詰めておく必要があるかと思う。消防団のあり方については、私の認識では、審議は一応終わった、これ以上やらないことになったと理解しているが、そこの再確認も皆さんに改めてさせていただいて、②と⑤を今後どう自主的審議事項から外すのか、④番は残しておくが、どうしていくのかという話もしていただきたいと思う。

【古澤委員】

今の消防団の関係だが、私は町内会長協議会で、直江津、五智地区の後援会長をやっている。総会と秋葉神社の防火、先日の勤労感謝祭には、直江津、五智の代表者、いわゆる町内会長が一堂に集まる。そのときにいろいろ話をしても、問題点は際立っていない。ないというか要するに団員を増やす、その課題しかない。それやるにはどうしたらいいのかということになると、やはり団員を増やすには、町内会で集めてもらったり、或いは消防団の方がいろいろな会合の中で増やしていくということしかないので、この地域協議会でどう取り組むかといっても、正直なところ無いように感じる。それも含めて、市民安全課や危機管理課と消防団でうまくコンセンサスしていただいて進めてもらったほうがよいのではないかと私は思う。

【田村委員】

私の感想だが、消防団のあり方について我々が議論したから消防団の皆さんにも多少伝わったし、団員確保の運動が多少なりとも起きたのではないかと自負しているが、成果は、お互い認め合ったほうがよいのではないかとと思う。

【磯田副会長】

今の話も含めて、我々地域協議会がどういった議論をして、活動をして、このような結果が出た、或いはこういう帰結になったということ、例えば活動報告会や公募の説明会で、我々の議論がこういう形で結実した、或いはこういう結果をもたらした、こういう動きをしたが、なかなか難しかった等の報告、或いは我々の成果をきちんと市民に伝えるようなことが必要ではないかと思う。それは次の世代の人たちにも伝えるという意味においても、そういった整理は必要ではないかと思う。その辺の資料を上手に事務局から作成していただければありがたいと思う。

【増田委員】

消防団に関しては、今の磯田副会長のまとめでよいと思う。地域ぐるみの防災活動については、せっかくスタートを切ったので、防災士会と今後も話をしていき、令和6年度は駄目だったが令和7年度の地域独自の予算にどのように反映していくか、これは非常に大事なことなので、自主的審議事項として継続をするということによいと思う。それに関連して、地域独自の予算事業について委員間で議論を深めていくと書いてあるが、委員間の議論を深めることは必要なので、それを踏まえて、以前市の担当課と話をするという話があったと思う。令和7年度は今のままの流れでいくと2割は団体負担になる

ので、それはまずいのではないかとみんな思っている。今議会でも見直しの必要があればどんどん見直し、意見を聞くと市長が言っておられるので、我々としても他の市民団体も、恐らく2割自己負担ではもたないと思う。そのところは地域協議会としてしっかり押さえていかなければいけないと思うので、その話を⑥でやったときに、どうしても担当課と話をしなければいけないことが出てくるのではないかと、担当課ではなく北部まちづくりセンターがしっかり対応するというのであればそれでいいが、実際やってみてどうするかということは考える必要があると思う。いずれにしても出口は今の2割負担のまま令和7年度地域独自の予算に突き進むということについては、我々としては疑問を呈しなければいけないと思っているので、そのような日程をどこか頭において進めていきたいと思っている。

【磯田副会長】

増田委員の話については、次期の人たちに対しても一番しっかりと詰めておかなければいけない問題で、③の地域ぐるみの防災活動の推進で、協議会と団体で考えた提案の何が駄目ではねられたのか、地域自治、地域分権、木田がやるべきことと、地域が考えてやることの整理が、地域独自の予算の中では全然ついていない。プラス補助率の変更の話について、今議会で答弁している雰囲気からすると、全然寄り添っていないというか、減額になってもみんな出している、やりたい人がやるといった雰囲気です市長は話している。だとしても、例えば最終的に直江津区地域協議会が意見書を出す、また何らかのアクションを表明していかないとまずい問題だと思う。それは何かというと、③の地域ぐるみの防災活動を7年度にまた提案しようとしても、多分またはねられる。なぜできないのかということ整理していかないと、地域協議会の自主的審議の行き着く先は何なのかという話になってしまうので、③、⑥の議論の中で、少なくとも直江津区の議論の中で、③の地域ぐるみの話をベースにしながら、次年度どうしていけばいいのか、或いは担当課とどういう協議が必要だったのかということ議論する必要があるのではないかと個人的に思っている。

【青山会長】

他になれば、次に今後の会議日程と議題について、第11回から第16回までの日程が示されているが、意見等はあるか。

【増田委員】

先ほど磯田副会長から説明があった件については、第14回と第16回は今期の活動

の整理になっているので、積み残しや課題があればここでやっていくと考えれば、磯田副会長の説明もこの中でこなすことができるのではないかと思う。第12回の通年観光計画については、中間とりまとめが配られたが、1月下旬にパブリックコメント実施予定ということは、1月16日のときには、中間報告ではなくパブリックコメントをかける案で私たちに説明してもらえのだろうと思っている。そうでないと、ここでやる意味がないので、準備をお願いしたいと思っている。いずれにしても、全体像を直江津として見させていただいて、みんなで話をしていくようにしないと、中間報告だけを見て意見を言うのではなく、あくまでもこれは中間報告という位置付けである。

【佐藤所長】

通年観光については、今増田委員がおっしゃったように、直近のデータや資料をもとに説明していただこうと思う。それが今日お配りした資料になるのかどうか、そこは確認をして、当日を迎えたいと思っている。

【青山会長】

今ほど決定した日程と議題で、今後開催することとする。

次に、その他について事務局より説明をお願いしたい。

【小川係長】

・次回協議会：1月16日（火）午後6時半から

先ほど説明した諮問事項2件を予定している。また通年観光については、本日配布した中間とりまとめを各自確認していただき、質問事項があれば年内ぐらいにお寄せいただきたいと思います。本日お配りした資料は、全体計画と直江津地域のみを抜粋している。それ以外のページと資料編をご覧になりたい場合は、ホームページに掲載されているので、必要に応じてご確認いただきたい。

【青山会長】

他に何かあるか。

【増田委員】

中間とりまとめを見たが、私たちが非常に大切だと思っている五智公園と五智地区を中心とする歴史のところがこの中に全く載っていないので、それはそれでいいのだが、私たちはその扱いをどのようにしていくかということは、どこかで関連付けていかないといけないと思うので、そのことを考えながら今後進めていけたらと思っている。

【磯田副会長】

五智の話はここに書いてない。

【増田委員】

この中に入っていないのはよしとして、今後私たちとしてはどのように考えていくかということが一つの課題である。

【丸山委員】

どこのタイミングでもよいのだが、この前も新聞で発表になっている新潟労災病院閉院の話である。以前も何月かに住民説明会があったが、そのときにも住民から、新聞報道の前に、前もってこういう話を聞かせてほしいと強い要望があったにもかかわらず、またこういう形になっている。それは仕方がないにしても、一度この協議会の場でも、閉院することになった経緯や理由等をしっかりと市の担当部局から話を聞きたい。また、住民説明会も今後予定していると報道でも聞いているので、そのあたりも、この場で話をしてもらえればありがたいと思っている。

【田村委員】

丸山委員の意見に付け加えて、報道でしか私どもは知らない。昨日議会へ傍聴に行ってきた。そういうことを話す方がいらっしゃるかと思ったら、今回は頸城区選出の上野議員だけだった。話を聞いたがどうしても納得できない部分があって、それは私の妻が労災病院に二度も入院した経緯があって、思いがある。閉院の影響は以前レインボーセンターで説明会を受けたのだが、そのときも突然報道されて、慌てて県なのか市が対応したのか分からないが説明会があって、その後また東雲町で開催したと聞いている。今後は、上越医療構想会議が発表する前に、必ず説明会を開くようなことを話していた。今回12月4日か5日に、またいきなり調整会議の報道を、今度は閉院が確実になったような報道をされた。今後いろいろ課題があると最後に結んでいたが、そういうことが全く我々に知らされていない、特に直江津の人に知らされていないということは、非常に不信感を持つ。こういった話があるのか、ないのかということを含めて私どもも聞かれる。地域協議会はそういう点で、住民に知らせると同時に、私どもはこの地域の市民の皆さんの、繋がり役のようなものだから、新聞以上の情報を求めていないが、せめて大筋の情報だけは常に知らせてほしいと思う。

【青山会長】

報道によると、令和7年に閉院すると言っている。その辺について市の説明をどこかでしてもらうことはできるか。

【佐藤所長】

担当課にお話できる内容があるかどうか、また新聞報道と同じものになるのかを確認し、今後の日程のどこに入れられるのか調整させていただきたいと思う。この間の情報については、我々も把握しきれておらず、新聞報道で初めて知ったのでご容赦いただきたい。

【古澤委員】

正直な話、閉院は避けてとおれないと感じたと思う。あの跡地を、例えばリハビリ等いろいろなことに使える。住民の方々もあの土地をどうするのか、何か再利用はないのかという要望がすごく上がっている。ただその矛先を、どこへ向けていいかわからない状況である。前にレインボーセンターで説明会があったときも、突然報道で知った。知らなかった方が多い。それではならんということで私も質問した。市の小林部長が、いくらでも市役所で受け付けるというようなことをおっしゃっていた。受け付けるといっても、やはり個人的では駄目だと思う。誰かが中心になって、住民の皆様方の意見を聞いて、そこで話しをしていかないと駄目なので、できるものなら今後の再利用について住民の要望を聞いてほしいといったことを伝えていただければと思う。

【青山会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。